

「虫採りで自然を大切に」

はじめに

ぼくのすんでいる所には、たくさんの自然が残っています。木に山に鳥や虫、川に海に、魚や貝など、ぼくはたくさんの自然に囲まれて育ちました。そして、この自然をこれから大切にしていきたいと思っています。

提案内容「虫採り大会を行う」

①自然の中で

鹿児島市の自然の多さを知り、自然の中で過ごす時間をもっとほしいので、虫採り大会をやることを提案します。その虫採り大会の中で、虫を探し、自然にふれあい、自然の中で過ごすことの気持ちよさを感じてほしいと思います。採る虫は、なんでもよいです。カブト虫やクワガタもいるかもしれませんが、カナブンやちょうちん、トンボなどなんでもよいです。その虫をつかまえて、よく観察し、名前などを調べてみるのもよいと思います。大

会の後は、その虫は元の自然に返します。

②子どもたちがきかく

ぼくは、あいご会活動によく参加します。

そのとき、いろいろな準備は大人が手伝って  
くれますが、行事や会の司会進行は子どもた  
ちがしています。ぼくが提案する虫採り大会  
では、子どもたがきかくして、司会進行を務  
めます。また、集まった人たちを案内するの  
も、子どもたちがします。

③歴史もたくさん



これは、ぼくが住んでいる近くにある夕賀  
山公園です。この夕賀山公園を虫採り大会×  
イン会場にすればよいと思います。この夕賀  
山公園には、東郷平八郎の像があります。東  
郷平八郎はロシアバルチック艦隊を破る(日  
本海戦)など、当時世界最強と言われていた

そうです。このような歴史を知ることとしてもよい勉強になります。

ほぼくの通っている大龍小学校には、一か月に一回、あいご会の歩こう会があります。校区内の各地域で、順番に行われて、その地域の中を歩きます。歩こう会の中では、地域の歴史や文化に関係のある場所を調べて、子どもたちが説明をして参加者が歴史を知るという活動もしています。

虫採り大会でも、子どもたちが、夕賀山公園や東郷平八郎の歴史や文化を調べ大会の始まりに参加者に説明できるといいと思います。

④サブ会場でも

虫採り大会のメイン会場は夕賀山公園ですが、他の場所にサブ会場も作れば、たくさんの方が参加しやすいと思います。いろいろなところで虫採りをしたら、もっと虫が住みやすい場にしようと考え、自然を大切にすることが増えると思うからです。

サブ会場で考えられるのが、城山公園や、

ぎおんのす公園です。城山公園は、西郷隆盛  
に關係が深く、ぎおんのす公園には、「海の  
子」の歌のひがあります。

最後に

こんな虫採り大会があると、大人も子ども  
も楽しめると思います。ぼくの住んでいる町  
の自然と文化と歴史を、たくさんの人に知っ  
てもらいたいです。